

埼玉県蕨市

狭い道路拡幅整備事業の包括的民間委託の可能性

【テ - マ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ()

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()

【事業方式】 コンセッション / 他のPFI / 包括的民間委託 / その他 ()

狭い道路に接する民間建築時に建築行政によりセットバックを指導しており、セットバックされた土地について公道として整備・維持管理を行っているが、1件ごとに従来発注を行うため迅速な対応が難しく、民間事業者が包括的に事業を実施することで迅速な道路整備を行える手法を検討したい。

①解決したい課題

- 本市は、首都圏に隣接する人口約7.7万人、5.1 km²の小規模自治体である
- 毎年道路延長約150m、道路面積約600m²の道路整備、道路延長約80mの土地測量、分筆を行っている
R7実績 工事件数 9件、測量7件、 R6実績 工事件数 5件、測量6件
- 狭い道路に接する民間建築時、建築行政よりセットバックを指導している。セットバックされた土地について、「要綱」に基づき、土地所有者の理解と協力のもと、公道として整備・維持管理をしている
- 現在は、セットバックしたところを市の事業として1件ごとに従来通り工事発注しているが、設計のための現地調査、設計業務、工事発注業務、工事監理業務が生じ、迅速な対応が出来ているとは言えない状況
- 道路用地として寄附された方、地域住民にとって安全、安心な道路整備が迅速にできる方法を検討したい

②課題解決の方向性等

【検討にあたっての前提条件】

- 事業は「社会資本整備総合交付金」を活用して行っている。年度ごとの完了が必要となるため、実際の事業は年度当初～1月末で行う必要があると考えている
- 包括委託により、後退用地の測量業務、分筆登記業務、道路整備業務の全てを委託するが、委託箇所については土地所有者の申し出に応じたものとなり、年度当初には不確定である

【求める提案概要】

測量や工事すべき箇所は、その土地にて建築工事が行われる時が多く、小規模である
従来のやり方では、寄附の申込から測量、分筆登記まで約4か月、工事完了まで約6か月の期間を要している
その間は写真の左側のように、道路形状が不規則となるほか、用地の管理が行き届かない期間が発生する
速やかに写真右側の状況に持っていくため、どのような手法がされるかの提案を希望する
※民間事業者へ期待すること
市全域の用地測量及び整備を一元化することにより、スピーディーな対応が可能となることを期待



後退後

【想定する業務】

後退用地の寄附申出のあった土地の、測量、分筆業務（道路延長約80m）
後退用地の寄附申し出のあった土地の道路整備工事（道路延長約150m、道路面積約600m²）
市域のうち、狭隘道路の存する地区が対象となるが、蕨市自体が狭小な市そのため、各委託箇所間の距離は3 kmを超えることはない

③課題解決のイメージ・効果

- 自治体 職員による発注業務、設計業務、工事監理業務が不要となることによる、職員の再配置
- 地域企業 工事ごとの入札、契約業務の簡略化による効率性の向上
- 地域住民 道路整備の迅速化による安全な道路空間の創出

その他

- 幅員4 m未満の市内道路延長 R7推計 約5 km
- R7 予算 21,000千円 R7実績 測量 約120m 整備工事 約150m
- R6 実績 21,680千円 R6実績 測量 約80m 整備工事 約150m